

葉山町 社会福祉協議会だより

2020.6.18

発行：社会福祉法人葉山町社会福祉協議会
〒240-0112 葉山町堀内2220 福祉文化会館内
TEL 046-875-9889 FAX 046-876-1873
http://www.hayamashakyo.com/
E-mail shakyo@hayamashakyo.com

社会福祉協議会は、
住民の皆さんの参加と協力によって運営され、
福祉のまちづくりをすすめている民間の福祉団体です。

年末たすけあい運動助成事業（一般助成）／令和元年度助成分 「アフターフォロー見学会」の報告

令和元年度に年末たすけあい運動助成事業（一般助成〔※〕）の助成金を受けて行われました申請事業（取り組み）を、本助成の審査員と社協（事務局）職員で実際に見学（視察）してきましたので、その様子の一部をご紹介します。

〔※〕 神奈川県共同募金会葉山町支会が平成30年12月に実施した「年末たすけあい募金運動」で集められた募金を財源にした助成金

1. みんなで見守る 葉山の子 見えない障がい<3年目>

【NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター】

令和元年8月27日(火) 13:30~15:00

／一色海岸（拠点／ロイヤルビーチ一色海の家）

障がいを抱える子ども達を対象にした葉山の自然を体験する機会の提供を目的に、快晴の中、主催スタッフ7人の指導のもと、日頃なかなか海遊びなどの機会が少ない葉山児童デイ結の児童8人は、それぞれのペースでシーカヤックやサップなどの貴重な体験を楽しんでいました。



2. インクルーシブ造形教室<3年目>

【KIDS ART HAYAMA】

令和元年10月1日(火) 15:00~17:30

／一色会館（森山神社内）

障がいのあるなしに関わらず、児童が自由に自己表現できる造形活動の機会づくりを目的に、美術大学卒の講師を招いて木工・ペイントによる自由な立体作品の造形活動を行っていました。参加された3家族他（9人）は思い思いに材料を組み合わせながら作品づくりを楽しんでいました。



3. はやま食卓プロジェクト こどもの食卓<2年目>

【はやま食卓プロジェクト実行委員会】

令和元年11月27日(水) 17:00~19:30

／玉蔵院（ワークショップ／本堂、会食等／客殿）

子ども（主に小学生・中学生）の孤食の解消や交流を目的に、集まった50人程度の子どもの達は、前半のワークショップでは音の鳴る仏具を使った音楽セッションや瞑想、後半の会食（子ども食堂）では会話を楽しみながらの食事や歯科衛生士の指導のもと歯磨きの方法などを学んでいました。



4. 乳幼児の子育て支援 ~自分らしい子育ての塩梅を学ぶ~<1年目>

【一般社団法人Telacoya921】

令和2年1月30日(木) 10:30~13:00

／うみやまの子どもとしょかん（下山口）

子育て中の親支援の担い手の発掘と育成を目的に、アンバイサー養成講座の受講者9人は、実際の保育現場での子どもの表情・行動の観察【実習】、子どものストーリー（観察結果や気づき、子どもに対する見方の変化など）を発表し合いながら、親子支援に大切な視点などを学びあっていました。また、講座卒業企画に向けての打ち合わせが進められていました。



【主な掲載記事】

◎「アフターフォロー見学会」の報告	1	◎子ども会の設立や復活に係る事業に助成金を交付します	3
◎令和2年度の重点的な取り組み	2	◎協議体の取り組みについて	4
◎令和2年度 社協会員募集と会費納入のお願い	3	◎新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金制度による緊急小口貸付等の特例貸付	4
◎令和元年度会費納入結果報告 ご協力ありがとうございました	3	◎葉山すくすく子育てメール配信中！	4
◎☆葉山あんしんセンター☆ ~日常生活自立支援事業~	3		

令和2年度の重点的な取り組み

葉山町社会福祉協議会の使命

年齢や障害のあるなしに関わらず「生きづらさ」を感じている人が、いつまでも「地域の一員」として暮らし続けられるよう、一人ひとりの生活問題を原点にしなが、本人の強み、日常生活圏域を基本に地域のあらゆる資源を活用し、資源がなければ住民と共に作りあげる。本人の自立支援と福祉のまちづくりを一体的にすすめてまいります。

令和2年度の運営方針

急速に進行する少子・高齢化を背景に、今後の社会福祉のあり方として、誰もがそれぞれに役割をもちながら主体的に地域に参加していく「地域共生社会」の実現が地域福祉の理念として掲げられ、地域共生社会実現に向けて「我が事・丸ごと」という考え方が示されました。とくに「丸ごと」として、制度の隙間に陥ってしまう、また既存の制度では対応が困難な課題を有する人びとに対する総合的、包括的な支援が重視されています。

こうした地域共生社会づくりのために、身近な圏域において分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関が連絡調整等を行う体制づくり、また複合化した地域生活課題を解決するための体制づくりが急務となっています。また、地域住民等が身近な圏域において、主体的に生活課題を把握し、解決に取り組むことも期待されています。

現実の地域に目を向けると、種々の課題を抱えながら、社会的に孤立し、適切な支援につながらない人が数多く存在しており、人びとの生活の安心が揺らいでいるといえます。もちろん、介護・障害・子育て・生活困窮などの制度創設やその見直しなど公的施策の整備によるセーフティネット制度の充実も図られてきています。しかし、現に発生している多くの事例は、地域の安全・安心を支えるセーフティネット機能が十分ではないことを表しており、地域共生社会実現のためには、なによりも身近な地域での人と人とのつながりそのものが生活を支えるセーフティネット機能の基盤と言っても過言ではなく、その強化が必要といえます。

このような状況において、本会の総合相談では断らない相談を入口に公的施策の利用促進に加え、多様な主体と連携して生活課題の解決に向けて取り組むとともに、地域住民等が主体的に取り組む生活課題の解決に向けて専門職としての伴走的な支援と小地域福祉活動推進組織や第2層協議体と連携し、既存の地域のつながりや支え合いの関係性を十分に尊重したうえで、住民の主体性を中心とした地域づくりのための活動を支援してまいります。

<重点的な取り組み>

法人運営部門

- 地域から信頼される社協となるために、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に努めます。
- 資産の効率運用等による安定的な事業財源確保を行います。

住民福祉センター部門

- 断らない総合相談を窓口、専門職としてあらゆる生活相談や活動相談の解決に向け取り組みます。
- 介護保険「生活支援体制整備事業」第2層協議体を新たに2地区設置し、町内全域8地区での運営を行い、住民主体の取り組みを支援します。
- 小地域福祉活動推進方針の見直しを行うため、新たに部会を設置し検討します。

地域包括支援センター部門

- 担当エリア内のよりきめ細かな高齢者支援体制を築いていくとともに、葉山町地域包括支援センター清寿苑及び行政との情報の共有と連携、役割分担に努めます。
- 利用者の立場にたった介護予防事業に積極的に取り組みます。

介護サービスセンター部門


- 特定事業所として積極的に困難ケースを受け入れます。
- 利用者確保に努め収益増による安定的なセンター運営を目指します。

令和2年度予算総額 188,032,000円（前年度比：+857,000円）

収入

会費収入	4,561,000円	障害福祉サービス等事業収入	200,000円
寄附金収入	400,000円	受取利息配当金収入	2,543,000円
経常経費補助金収入	67,939,000円	その他の収入	135,000円
受託金収入	26,834,000円	基金積立資産取崩収入	500,000円
貸付事業収入	197,000円	拠点区分間繰入金収入	3,655,000円
事業収入	1,498,000円	サービス区分間繰入金収入	4,666,000円
介護保険事業収入	73,786,000円	前期末支払資金残高	1,118,000円
		合計	188,032,000円

支出

法人運営 	72,758,000円	はやま住民福祉センター 	29,572,000円
介護保険サービス 	42,144,000円	地域包括支援センター 	31,800,000円
障害サービス	200,000円	基金運営	2,570,000円
生活支援事業	7,648,000円	ホームヘルプ	1,340,000円
		合計	188,032,000円

事業や予算等の詳細は、事務局およびホームページで公開しております。また、日々の活動等ブログにて報告していきますので、ぜひご覧ください！
ホームページ：<http://www.hayamashakyo.com/> ブログ：<http://hayamashakyo.blog.fc2.com/>

令和2年度 社協会員募集と 会費納入のお願い

～今年度もどうぞよろしくお願ひいたします～

社協活動の財源は、県・町などからの受託金や補助金、共同募金の配分金、寄付金、そして皆さんからの会費です。町民の皆さんのご理解とご協力により、社協の各種事業は支えられています。

会費の納入については、昨年と同様に各町内会・自治会にご協力をお願いしています。各町内会・自治会の役員の方がご家庭にお伺いした際には、社協の活動内容などにご理解のうえ、ご加入下さいますようよろしくお願いいたします。

また、各町内会・自治会に加入されていない方（世帯）は、社協事務局（TEL：875-9889）までご連絡をいただければ、職員がご自宅にお伺いさせていただきます。なお、社協事務局の窓口でも受付を行っておりますので、ご協力をお願いします。

◎一般会費

- ・町内各世帯…………… 年額一口 500円
- ・社会福祉施設、社会福祉団体等…………… 年額一口1,000円

◎賛助会費

- ・本会の趣旨に賛同し、経費を助成する各世帯、団体、法人…………… 年額一口3,000円

ご協力ありがとうございました

令和元年度会費は、住みよい福祉のまちづくりのための事業に充てさせていただきます。（順不同、敬称略）

【賛助会員（法人、企業、個人商店、ボランティア団体）】納入総額……355,000円

葉山の丘、(有)アシストホーム、(有)建旺住宅不動産、(有)小林商会、FRUTTO、市川電機葉山店、実教寺、風の子保育園、NPO法人おかげさまのめぐみ舎、(有)かやのぎや、(有)市川不動産、(有)大門商店、交樂葉山一色、湘南グリーン介護老人保健施設葉山、特別養護老人ホーム葉山グリーンヒル、(有)葉山衛生社、葉山町漁業協同組合、葉山どうぶつ病院、葉山不動産(株)、SOMPOケア ラヴィール葉山、(有)葉山旭屋牛肉店、(有)永楽家、(株)葉山館、(株)横浜銀行、佐藤歯科医院、森戸大明神、(株)湘南サプライ、竹田医院、あけの星幼稚園、京急葉山交通(株)、(有)サンライズ、松井接骨院・松井はり灸院、(有)友琉館、(株)三留モーター商会、(有)根岸精工、福蔵寺、葉山にこにこ保育園、(有)日の出園、仙光院、金魚屋 懐古堂、(株)葉山国際カンツリー倶楽部、(有)片桐印刷、手打ちそば 和か菜、(有)福原プロパン、葉山観光開発(株)、(有)木村義肢工作研究所、逗子菊池タクシー(株)、逗子葉山ライオンズクラブ、山陽印刷(株)、(株)トータルプランナー、NPO法人青い麦の会、NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター、音訳の会 葉山やまばと、ケアフレンズ葉山、コミュニティ・ケア さくらんぼ、さくら日本語の会、食事サービスグループ オアシス、サークル歌と大正琴の花園、つくしんぼ、日本防災士会葉山町支部、葉山災害ボランティアネットワーク、葉山手話サークル クローバー、NPO法人 葉山っ子すすくパラダイス、葉山の交通問題を考える会、はやま防災ネットワーク、葉山町ゲートボール協会、葉山町赤十字奉仕団、葉山町手をつなぐ育成会、NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ のぞみ、葉山さろん、葉山点訳の会、葉山町身体障害者福祉協会

【一般会員（社会福祉施設、社会福祉団体）】納入総額 …… 80,000円

葉山はばたき、葉山清寿苑、逗葉歯科医師会、逗葉地区保護司会、葉山町町内会連合会、葉山町民生委員児童委員協議会、一般社団法人葉山町シルバー人材センター、葉山地区更生保護女性会、葉山町ボランティア連絡協議会

暮らしの安心のお手伝い 判断能力の不十分な障がい者や高齢者の権利を守ります

☆葉山あんしんセンター☆ ～日常生活自立支援事業～

【お困りではないですか？】

- 介護保険など、福祉サービスを受けたいが、どんな手続きをしたらいいのかわからない。
- いろいろな郵便物が届くが、大事な書類がどれかわからない。
- 生活費を銀行に引き出しに行きたいが、ひとりでするには自信がない。
- ひとり暮らしなので、通帳や印鑑の管理が心配である。

<葉山あんしんセンターでは>

- ①福祉サービス利用援助……福祉サービスや苦情解決制度の利用手続きのお手伝いをします。
- ②日常的金銭管理サービス……日常の預貯金の出し入れ、公共料金の支払いなどのお手伝いをします。利用料は、生活保護受給者・前年度分所得税非課税者の方は無料です。前年度分所得税課税者の方は、課税額に応じて有料となります。
- ③書類等預かりサービス……預貯金通帳、権利証、実印、年金証書などの大切な書類等を金融機関の貸金庫でお預かりします。利用料は、年額6,000円です。（貸金庫保管料）
- ④権利擁護専門相談……弁護士による専門相談を実施します。相談料は無料です。（予約制）

<利用できる方は>

- 障がいや高齢の理由で判断能力が十分ではないが、本事業の利用意思があり、契約の内容をある程度理解できる方。

<利用までの流れ>

まず、葉山あんしんセンターにご連絡ください。担当者（専門員）が訪問し、お困りのことを一緒に考え、必要な援助の支援計画を作ります。神奈川県社会福祉協議会で行われる審査会にて承認を得てから、契約を結びます。支援計画に沿って生活支援員がサービスを開始します。※相談から契約まで、おおむね3ヶ月程度かかります。

☆お金のことは、なかなか相談しづらいものです。秘密は厳守します。相談は無料ですので、まずはご自身の困りごとからご相談ください。葉山あんしんセンターでは、『あんしん』して日常生活が送れるようお手伝いします。

<葉山あんしんセンターに関する問合せ先>

葉山町社会福祉協議会 電話：046-875-9889 担当：齋藤

子ども会の設立や復活に係る事業に助成金を交付します

「子ども会」とは、地域の子もたちが集まって、仲間と活動を共有することによって、その子の、その子が参加している集団のより望ましい成長を意図したコミュニティ活動です。仲間集団のもつ形成力と、活動（経験）を通しての成長を統合し、よりたくましい子ども、子ども集団の実現を目指します。

助成金の交付対象団体

地域を基盤に子どもの健全な仲間作りや心身の成長発達を促す事を目的として、町内会区域等の小地域において組織する町内会、自

治会又は代表者及び会計が明確な設立準備会等の団体。

助成金額

助成金額 30,000円（上限）

申請方法

助成金の交付を希望する団体は、事前にご連絡のうえ、事務局までお越しください。

問い合わせ 葉山町社会福祉協議会 電話：046-875-9889 担当：伊藤

住みやすい顔の見えるまちづくり～生活支援体制整備事業～ 協議体の取り組みについて

2000年にスタートした介護保険制度は、深刻な介護ニーズを解決するうえで不可欠な制度ですが、高齢のみならずこのような福祉制度の充実は、その一方で住民参加型サービスや近隣での支えあい活動の低下を招くという副作用があったことも事実です。

近年では、増加する介護ニーズに対して財源、担い手の確保が困難となってきました。このような中、平成27年度に改正された介護保険制度の中に協議体「地域支え合い会議」が位置付けられ、住民主体の取り組みをより一層支援するとともに、介護予防の環境づくりや、要支援者、認知症の方々が安心して暮らせる地域づくりを進めるため関係者が横のつながりを作り新しい社会資源が作りやすい環境を作ることとなりました。

各地区の取組

地区名称 (協議体設置年度)	令和元年度までの取り組み	令和2年度の予定など
木古庭地区 (令和2年度予定)	木古庭地区で活動されている「木古庭福祉委員会」の方とお話をしました。	木古庭のいろいろな団体に聞き取りをしながら具体的な取り組みを始める予定です。
上山口地区 (令和元年度～)	上山口のいろいろな団体で構成されている「上山口福祉活動推進委員会」の皆さんと毎月情報交換や話し合いをしています。	令和2年度から、歩いて上山口サロンに行くことが難しい人に対して送迎をすることになりました。
下山口地区 (平成30年度～)	下山口のいろいろな地縁団体と「(仮称)下山口の地域福祉を考える会」という名前で話し合いを進めています。 <ul style="list-style-type: none"> • お互いがどんな団体でどんな活動をしているのかの情報共有をしました。 • 「支え合える関係性づくりのために普段から住民同士が気軽につながれる企画を考えよう！」という話から「下山気楽会」という団体も立ち上がりました。令和元年度は農業体験の企画を通じて地域の皆さんがふれ合いました。 	天候の関係で令和元年度に実施できなかった企画を実施して、企画に参加された方からも困りごとや実態を聞きながら、今後こういった取り組みをしていくかを検討していく予定です。 
一色地区 (令和元年度～)	地域での支え合い活動の必要性とあり方を学ぶための2回の研修と、地域での支え合い推進の協議をするための会議「支え合い推進会議(協議体)」を2回開催しました。 9町内会からなる一色地区では、今後の支え合いの活性化を図るため、町内会エリアごとにエリア内で活動する団体に、地域の福祉資源、その地域の特徴、個性を明らかにするための「ヒアリング」をすることが決まりました。	現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、1エリアのみの開催にとどまっていますが、新たな気づきと今後の展望が見えてきました。他のエリアに関しては情勢を見ながら、参加団体と日程を調整し、順次開催していく予定です。
堀内地区 (平成30年度～)	全体会議(年2回)とコア会議(月1回)を中心に、課題検討・実践対応中! <ul style="list-style-type: none"> ●みんなの貯筋(介護予防事業・通いの場) ●みんなの食卓(多世代交流・孤立支援)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>◎H30年度に抽出された地域課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報共有・周知不足 2. 担い手・後継者不足 3. 拠点不足 4. 孤立問題・健康維持 5. 災害対策・セキュリティ不安 </div>	引き続き、住民の皆さんの支え合いへの思いを、支援・連携・推進していきます! <ul style="list-style-type: none"> ●風早互近助支援プラットフォーム“kazapla” (情報周知・ネットワーク整備・相互支援の活性化等の機能組織) ×既存団体コラボ・協働プロジェクト ×動画配信(在宅運動支援)等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>①協議体NEWS(年2回発行) ②SNS(毎週配信) #葉山堀内協議体</p>  </div> <p>※コロナ自粛下「テレワーク会議」実施 早速リモートワーク機能も活用されています!</p>
長柄・長柄下町内会地区 (平成30年度～)	長柄地区ネットワーク会議運営委員会を発足。 「わが町探訪町めぐり」を実施し、把握した地域情報を反映させながら、地域アセスメント(福祉ニーズ調査アンケート)を、各町内会のご協力をいただいて3月にアンケート用紙の配布を順次開始しました。	上半期は、地域アセスメント(福祉ニーズ調査アンケート)の回答回収と、その集計・分析。 下半期は、分析結果から、どのような助けあい・支えあいの仕組みづくりが望まれるかの検討と、その具体化に向けた計画作りをネットワーク会議と共に行います。
葉桜自治会地区 (令和元年度～)	住民主体の「葉桜まちづくり委員会」を、生活支援体制整備事業第2層協議体に位置づけ、全体会・分科会代表者会議等に参加。 2020年度に向け、町づくりの提言が委員会より自治会へ提示されました。	「葉桜まちづくり委員会」終了後の、新たな第2層協議体の設立をサポート。自治会にて採用された提言の実現へ向け、協力体制を取ります。
イトーピア葉山自治会地区 (令和2年度予定)	イトーピア福祉友の会の定期役員会へ参加するなど、イトーピア葉山自治会地区内の、活動団体の活動内容の把握を開始しました。	前年度に引き続き、イトーピア福祉友の会の定期役員会等へ参加しながら、第2層協議体の組成へ向けて第一歩を踏み出します。 このためには、各活動団体代表者のご理解と合意が重要となります。

お問い合わせ

<葉山町社会福祉協議会>

TEL: 875-9889 FAX: 876-1873 E-mail: shakyo@hayamashakyo.com

- ◆法人運営 ----- 社会福祉協議会の運営に関する窓口
- 日常生活自立支援に関する窓口
- 貸付に関する窓口

◎介護サービスセンター ----- ケアプラン作成・ヘルパー派遣に関する窓口
住所: 葉山町一色1437-3 ハビテーション葉山013
TEL: 877-1031 FAX: 874-9311 E-mail: zaitaku@hayamashakyo.com

- ◆はやま住民福祉センター ----- 福祉に関する相談窓口
- 地域活動やボランティア活動に関する窓口
- 在宅福祉サービスに関する窓口

◆葉山町地域包括支援センター ----- 高齢者に関する総合相談窓口
TEL: 877-5324 E-mail: houkatsu@hayamashakyo.com

新型コロナウイルス感染症を踏まえた 生活福祉資金制度による緊急小口貸付等の特例貸付

社会福祉協議会では、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業等によって生活資金の必要な方に対して、緊急小口資金等の貸付を受付しています。
申込み・相談は電話にてお問い合わせください。

問い合わせ 葉山町社会福祉協議会 電話: 046-875-9889

葉山すくすく子育てメール配信中!



様々な検診や児童館情報など、葉山町の子育て情報をお届けします。QRコードから、空メールを送れば登録完了。個人情報等は不要です。
QRコードを読んで、表示されたメールアドレスに空メールを送ってください。QRコードが読めない方や、PCでの登録の方は、sukupara-fjoin@5-55.jp へ空メールを送ってください。
折り返し、「sukupara」メーリングリストへようこそ」というメールが返ってきたら登録完了です。